



ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary



# 「楽しい例会、楽しく食事、健康な毎日で奉仕の実践」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長：イアンH.S.ライズリー 2800地区ガバナー：鈴木 一作 ガバナー補佐：鈴木 政康  
会長：伊勢 和正 幹事：石山 祐介 会報・史料委員会 委員長：間木野仁美  
委員：金田 亮一 谷池 正弘 鉄 浩二 鈴木 崇弘 丹野 善将

## 第2219回例会

2018-6/19(火) 天気(晴れ)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 伊勢 和正 会長

□司会進行 (SAA)：佐藤 直人 君

□ロータリーソング：「我等の生業」

### 会長挨拶



皆さんこんにちは。本日のゲストをご紹介します。真下慶治美術館館長の真下清美様です。のちほど卓話を頂戴いたします。

さて、ちょうど一年前に東名高速道で「あおり運転」が原因の痛ましいご夫妻の死亡事故がありました。残された子供さんの事を思うと胸の痛む事故でしたが、実はこの様な事故は連日発生しており「あおり運転」の危険運転行為摘発件数は年間約7,000件、表にでないものはその数倍あるのではないかとされており。あおりを仕掛けられた場合はどうすべきか？一番大切なのは焦らず自分のペースで相手に道を譲る事。更にはサービスエリアなどに逃げ込む事。相手が詰め寄った場合は窓を開けたり、外に出たりは絶対しない事。それと万一被害にあって役に立つのがドライブレコーダーです。最近では損害保険に装着がセットになった保険

もあるそうで、私も付けてもらいました。あおり運転にあったら絶対その映像で相手を訴えてやろうかと思っております。

〔大石田深堀温泉〕

最上三十三観音札所の川前、深堀を越してオシッコ休憩がこの深堀温泉あったまりランド深堀です。昔の古い建物も好きでしたが今はチョー近代的になって湯量もすごい豊富ですがチョッと温度が昔と比べ低くなったかなあという気がします。でもお湯の質と量はピカーで何と言っても施設が広いのでチマチマしないでオチンチン丸出して何度でも内湯と露天を行ったり来たりでとても気持ちよく開放感100%です。やっぱりここは春に来るのが一番、深堀の露天風呂の空気は春の山下ろしが一番おいしいです。お決まりは湯上がりに食堂で天板蕎麦を食べますが、お腹を少し残しておいて、帰り際にご存知最上川千本だんごの館とぬたですね、これで腹いっぱい。しかし山形での一番はガード下の渡邊だんご屋さんに限りますね！

### 幹事報告 石山 祐介 幹事

1. 鈴木ガバナーより2020-21年度ガバナーに就任する2017-18年度ガバナーノミニ・デジグネートが米沢中央ロータリークラブの齋藤栄助会員に決定した旨の報告がありましたのでお知らせいたします。
2. 委員会活動報告書の提出を今月末までお願いいたします。
3. 最終例会の案内を差し上げておりますので皆様のご出席をお願いいたします。

### 委員会報告

#### ■ニコニコBOX 宮館 順治 君

- 神崎 祐子君 ポール・ハリスフェロー受賞ありがとうございます。
- 石山 祐介君 息子が先週中体連野球で優勝しました。
- 伊勢 和正君 真下館長、本日はありがとうございます。
- 金子 靖二君 真下館長、本日はありがとうございます。
- 浅野 裕幸君 齋藤伸治君のご厚意に甘えてさくらんぼ畑に行ってきました。
- 熊谷 昌和君 大学のスキークラブの同期で長野に行ってきました。
- 武田 和夫君 5番目の孫のお宮参りに行ってきましたが、帰りの新幹線がストップして大変でした。

- 青山治右衛門君 東京で謡曲に出演してまいりました。
- 寺崎 利彦君 蔵王カントリーシニア選手権トップ通過しました。
- 谷池 正弘君 妻の誕生日にお花ありがとうございました。
- 武田 秀則君 東京で謡曲に出演してまいりました。
- 宮館 順治君 次回もニコニコ宜しく願っております。
- 真下 清美様 卓話で清聴ありがとうございました。



神崎祐子君がポール・ハリスフェロー表彰を頂きました。



### 本日のメニュー

もずく酢、鮪・烏賊お造り、  
鰯の煮付け、サーモン山椒焼き、  
ご飯、味噌汁、新香

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

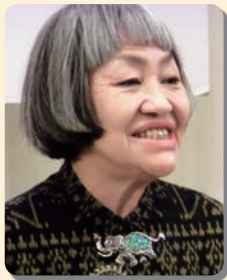
山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



# 『絵描きに寄り添って』

真下慶治美術館 館長 真下 清美氏

現場で描き続けた画家 真下慶治は、大正3年3月5日戸沢村津谷で医師の次男として生まれる。男子4人兄弟である。父、元雄は戸沢村角川で国民健康保険発祥となる基礎を纏めた医師である。大正5年慶治3歳の時、父は青森県中津軽郡西目屋で診療所活動をする。弘前の和徳小学校から弘前中学1年まで10年間幼年期の多感な時を弘前で過ごす。学校が休みになると岩木川沿いの道を約12キロ、弘前から目屋まで歩いて往復する。真下一家は村人から大変尊敬された。

慶治は子供のころ、一人で凧絵を描き遊び、皆さんから親しみを込めて“凧きちがいの慶ちゃんさん”とあだ名される。弘前中学一年から新庄中学（現在・新庄北高）に転校する。中学校時代に詩人になりたかったという。謄写版を買いガリ版刷りの詩集が残されている。そんな折に、酒田中学から転校して来た、後の本間美術館の館長を務めた佐藤三郎氏が油絵を描き展覧会を開催したのをきっかけに絵に興味を持つ。17歳（昭和7年）の時「新庄の街」を描いた油絵が美術館に残されている。東京文化学院油絵科に入学して洋画を学ぶ。二科研究所でも学び、五年後郷里に帰る。冬の最上川を描くきっかけは、慶治の一人描いてきた最上川一の文の中に一ある雪の日、歩をのびし鮭川との合流点（岩花付近）の最上川に行き着いた途端、その風景の素晴らしさに驚愕してしまった。雪のない時は何の変哲もない平凡な風景もこんなに変わるものかと一最上川に限ったことではないが一それまで私が見て来た最上川とは全く趣を異にした、清冽な、引き締まった、雄大な、自然の厳しさを直に感じさせるものだった。この衝撃から、私は最上川の虜になってしまったと書いています。文化学院時代の恩師、石井拍享の「君は雪国に居るのだから雪景色を描いて」の助言もある。岩花の最上川傍にアトリエを建てて対岸の蔵岡を架けて数多く描いた。26歳（大正15年・紀元2600年）の時の50号「雪の最上川」の絵がイタリア政府に買上げとなったのも、なお一層冬の最上川に集中するようになる。戦後、昭和21年、日展・第一回春。第2回秋。連続特選となり若くして日展会員となり、一水会共々終生活躍の場とした。37才の時、山形大学の美術の教師となったのを切っ掛けに、大石田の風景も描き、昭和30年、住居を山形に移し、最上川の上流から河口までを隈なく歩き数多くの作品が残っている。何時も見る身近な風景を、冬の雪のなか現場で描く事に拘り続けた。60年来、最上川を描き続けた画家と晩年の18年暮らしまして、共に最上川を見続けて来ました。新しい橋が架けられると、いち早く行き描いています。河の上に立てるのは橋の上からでなければ眺めることは出来なかった事でしょう。平成5年になくなりませんが、それまでに架けられている吊り橋からも、すべての橋の上から描きました。当時はまだ河畔に茅葺の民家は目立ちましたが、平成10年頃には殆んど無くなりました。真下の絵画から見える風景と現在、道路は新しく、護岸が変わり民家が変わりました。点景に人物を描いた作品はすくない

ですが、護岸に植えられている杉林には人々の息吹を感じる、と書いています。一最上川は年々日々変わる。新しい道路が出来、新しい橋が架けられる。次々と新しい最上川風景が展開する。探れども尽きない。描けども描き尽くせない。だが私は描き続けよう「母なる最上川」を一と書いています。点景の赤い屋根と杉林と、今は見ることも出来ない河路を利用した小鵜飼舟と共に、最上川に集う人々の営みを描き尽くした。



平成5年春、白血病で山大医学部に入院します。5ヶ月病室から出られない闘病でしたが、7月に酒田で展覧会を開き、8月初めから、第55回一水会出品画を一人に会う体力はないと面会謝絶にして30号の「冬の河畔」を描く。8月31日サインを入れて、その一週間後の9月8日に亡くなります。

真下慶治の振返って見た時、水面を描きたかった、と書いています。生涯変わる事無く一直線上で対象と向き合って作家活動をした事が見えてきます。47年に大学を辞めて、最上川中流・三難所の中程の河が大きく蛇行する村山市大淀にアトリエを建てます。晩年真下73才（昭和63年）の時、もう一度若い時代に描いた最上峡から河口か再挑戦したいとの事で、現在酒田市になりましたが、旧松山町にアトリエを建てます。

真下慶治は生涯かけて命をけずるがごとく、その時の在るがままの厳冬の雪景色・春・夏・秋と最上川描き続けました。人とのご縁とはありがたいことです。「酒田松山文化伝承館・真下慶治記念室」。村山市大淀、尋常小学校跡地に「真下慶治記念美術館」が建ち、何時も真下の絵画を見ただけの場所があるのです。村山市の美術館は建築家、高宮真介氏との出会いも素晴らしい事です。村山市大淀、尋常小学校跡地に美術館が建てますが、設計するにあたり冬の日に高宮氏を案内致しました。その時の事を一厳冬にお雪深い丘に初めて立った時、風景の寂然した迫力に圧倒された。その時から画家が愛したこのかけがえのない風景を、訪れた人が共有できる場をつくることにつきと思った。地元産の楯山石を敷き詰め、階段状に最上川に向かって45度開くテラスは、座して作品鑑賞の余韻に浸る場所であり、観桜会や茶会、生徒の写生会や野外音楽会の場所である。一（新建築3）と書かれています。

まさに、これから眺める最上川の自然の風景はかけがえのない財産です。次期世代に繋げていく事が大切な事だと思います。『美し山形・美しい最上川』が何時までも続く事をひたすら願います。ご清聴ありがとうございました。

## ○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	55名		39名	
前回修正	55名	50名	48名	96.00%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形イニング) 遠藤 幸司 間木野仁美 工藤 毅 山下 宏			

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは？

出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは？

出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員